

令和元年度の地方創生推進交付金を活用した事業の評価シート

大和市の事務事業名	健康都市やまと総合計画の施策体系		
さがみロボット産業特区 促進支援事業	健康領域	社会の健康	
	基本目標	8	市民の活力があふれるまち
	個別目標	2	まちのにぎわいと地域経済の振興を図る
	めざす成果	1	商店街や企業が活発に活動している

上記の事務事業のうち、令和元年度に交付金を活用した取り組み

交付金事業の名称	実施概要
首都圏南西部ロボットビジネス創成プロジェクト	① 生産性向上セミナー、SIer 育成プログラム（基礎講座）等の実施 ② 産業用ロボット導入のための「自動化コンサルティング」業務の実施 ③ 文化創造拠点シリウスにおける介護等に役立つロボットの展示
目的	実施結果と効果、課題等（所管課の評価：産業活性課）
産業用ロボットの導入やロボット周辺産業を中心とした新ビジネス創出を支援する。	・産業用ロボットの導入を検討している事業者等を対象として生産性向上セミナーなどを計4回実施し、合計35名が参加したほか、SIer 育成プログラムとして「システムインテグレート養成講座（基礎編）」を初めて開催し、14名の参加がありました。 ・市内事業者3社が自動化コンサルティング業務を活用しました。 ・文化創造拠点シリウス4階の健康都市図書館に「介護に役立つロボットコーナー」を設け、5種類のロボットを展示することで、ロボットへの普及啓発を図りました。（令和元年度のシリウス来館者数は、3,020,201人） ・過去に自動化コンサルティングやセミナーを受けた事業者のうち、2社で新たに産業用ロボット等が導入され、企業支援につながりました。
事業費 （令和元年度決算額：千円）	
事業費	交付額
9,078	4,539 （補助率 1/2）

KPI等の達成状況（上段：目標値、下段：実績値）

項目		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
大和市の独自指標	セミナー等参加者	20人	20人	104人	30人
		27人	59人	112人	49人
	産業ロボット導入支援（コンサルティング）	5社	3社	2社	3社
		3社	1社	2社	3社
展示スペースの設置	1か所	1か所	1か所	1か所	
	1か所	1か所	1か所	1か所	
相模原市との連携指標	労働生産性2倍以上達成企業	4社	7社	15社	25社
		5社 （うち、大和市分0社）	7社 （うち、大和市分0社）	21社 （うち、大和市分2社）	21社 （うち、大和市分2社）
産業用ロボット導入に関する金融機関等融資額	100,000千円	200,000千円	300,000千円	500,000千円	
	130,000千円 （うち、大和市分0千円）	148,000千円 （うち、大和市分0千円）	379,308千円 （うち、大和市分141,308千円）	332,015千円 （うち、大和市分41,800千円）	

「健康都市 やまと」 まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策体系	基本目標Ⅲ 仕事が見つかりやすく、働くことが楽しいまち (1) 近くで働けるまちにする ③ 創業・企業の支援を行う
------------------------------------	---

総合計画審議会の評価

総合戦略への有効性	その理由等
総合戦略の目標達成に A. 有効である B. 有効ではない	

<参考：これまでの評価>

総合計画審議会の評価		
総合戦略への有効性		その理由等
H30	A. 総合戦略の目標達成 に有効である	これまで当該事業において、セミナーなどを実施してきた中で、平成 30 年度には、市内の企業で産業用ロボットの導入に至っており、交付金事業の効果があったと考えます。今後も、市内企業での導入が進むよう、着実に取り組みを進めてください。
H29	A. 総合戦略の目標達成 に有効である	<ul style="list-style-type: none">・市内製造企業を対象に生産性向上・自動化セミナー等を開催したほか、年間 300 万人以上が来館するシリウスにおいてロボット展示を行うなど、市民や事業者のロボットに対する認知度や意識を高めてきたことは、交付金事業の目的の一つである新ビジネスの創出につながる取り組みと捉えることができます。・今後は、製造業以外の多様な分野に施策の対象を広げることも視野に入れながら、機運の高まりを実際のロボット導入に結び付け、産業の活性化を図るなど、基本目標Ⅲ「仕事が見つかりやすく、働くことが楽しいまち」の実現につなげられるよう取り組んでください。
H28	A. 総合戦略の目標達成 に有効である	セミナー参加者数が目標値を上回ったことや、「介護に役立つロボットコーナー」を年間 300 万人が来館するシリウスに設置していることなどから、ロボット産業の普及啓発及び潜在的ニーズの掘り起こしに効果があったと考えられる。

首都圏南西部ロボットビジネス創成プロジェクトについて（大和市分の事業概要）

（１）セミナー等参加者

◆生産性向上セミナー◆

主に製造業の中堅技術者を対象に、大学研究者やメーカー技術者を講師に招き、自動化や生産性向上の基礎知識や事例を学ぶセミナー。

- 【第1回】 日 時：令和元年10月29日（火）
場 所：大和市文化創造拠点シリウス内 生涯学習センター 中会議室
参加者数：14名
- 【第2回】 日 時：令和元年11月14日（木）
場 所：大和市文化創造拠点シリウス内 生涯学習センター 中会議室
参加者数： 7名
- 【第3回】 日 時：令和元年12月10日（火）
場 所：大和市文化創造拠点シリウス内 スタジオ 大
参加者数： 6名

◆ロボット操作教育セミナー◆

産業用ロボットの導入を予定している企業を対象に、安全衛生特別教育規定に基づき、産業用ロボットの基礎的な動作とプログラミング、関係法令等を2日間で学ぶ講座。修了後、産業用ロボットを取り扱う資格が授与される。

日 時：令和元年11月27日（水）、28日（木）
場 所：さがみはらロボット導入支援センター
参加者数： 8名

◆システムインテグレータ養成講座（基礎編）◆

広く市内企業などを対象に、ロボットシステムエンジニアとして必要な自動機・ロボットの導入に必要な考え方や基礎知識の習得に役立ててもらうことを目的とした基礎講座。

日 時：令和2年 1月15日（水）～17日（金）
場 所：大和市役所 会議室棟101会議室
参加者数：14名

（２）産業ロボット導入支援

- ・「自動化コンサルティング」とし、技術コンサルタントが産業用ロボット導入を検討する企業を訪問調査し、導入に向けた課題の整理や提案を行うもの。
- ・令和元年度は、3社が自動化コンサルティングを活用。

1社目・・・現場確認：令和 2年2月26日／結果報告：令和 2年3月26日
2社目・・・現場確認：令和 2年2月26日／結果報告：令和 2年3月26日
3社目・・・現場確認：令和 2年3月 6日／結果報告：令和 2年3月25日

○展示スペースの設置

開 設 : 平成31年4月1日～令和2年3月31日

展示時間 : 年末年始を除く毎日午前9時～午後9時 (日曜日・祝日は午後8時まで)

展示場所 : 文化創造拠点シリウス4階健康都市図書館

展示ロボット: 5機種

◆排泄介助ロボット (2種類)

・・・排泄を感知し自動吸引、洗浄するロボット (「ダイアレット」)

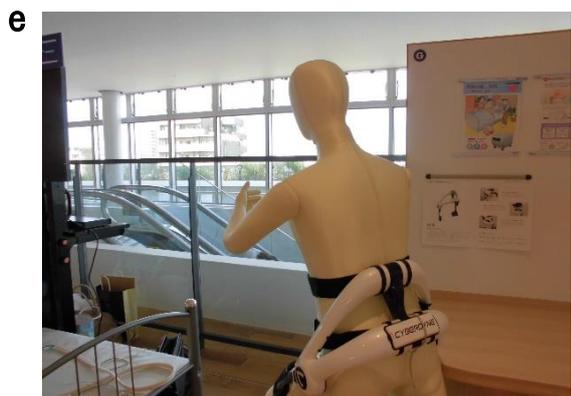
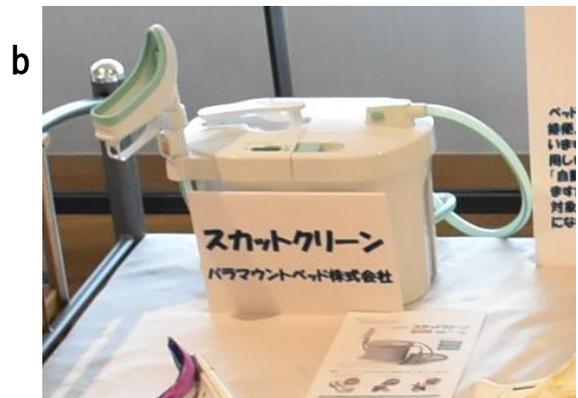
・・・排尿すると自動で吸引する採尿器 (「スカットクリーン」)

◆認知症予防コミュニケーションロボット (2種類)

・・・認知症予防効果が期待される、人の呼び掛けに反応する人型・動物型ロボット
(「PALRO」「パロ」)

◆介助者支援ロボット (1種類)

・・・腰に装着することにより、持ち上げる動作をアシストするロボット
(「HAL (介護支援用腰タイプ)」)



a: 排泄介助ロボット (ダイアレット)

b: 排泄介助ロボット (スカットクリーン)

c: コミュニケーションロボット (PALRO)

d: コミュニケーションロボット (パロ)

e: 介護者支援ロボット (HAL)

f: コーナー全景